



支援を提供することにより、職場復帰に向けた総合的な支援を可能にしようとするものです。対面での相談に加え、当社で開発した「スマートフォン・タブレットを使ったキャリアコンサルティング（SPCC）」も活用いただくことで、病気療養中の方でもご自宅でキャリアコンサルティングをお受けいただくことができます。

SPCCを活用することで遠隔での面談が可能になるため、広い範囲で事業展開をしている企業などにとってもキャリアコンサルティングを導入しやすくなります。

●時代に合わせたキャリアコンサルティングの新しいサービスもいろいろと生み出されているわけですね。そのような様々な現場で活躍するキャリアコンサルタントを生み出す御社の養成講習についてお聞かせください。

お話ししたように、キャリアコンサルタントはこれからこれまで以上に組織の様々な場面で活動することになると思いますが、目の前にクライアントがいるという点においての違いはないと思います。表面的なテクニックや目先の問題の解決に拘るのではなく、「いかにクライアントの成長を促す関わり方ができるか」という点を大切にしています。どのような場面でもしっかりと目の前のクライアントを受け止められるよう、当社の養成講座では「クライアントに対してどのような姿勢でいるか」や「本来の我々のあり方とは」といったことをじっくりと学びます。これらは対人支援のための揺るがない土台といってもいいでしょう。その中で大事にしている考え方の一つとして「自己概念の成長」というものがあります。「自己概念の成長」はキャリアコンサルタントが相談者に経験を通した内省を促し、「相談者が社会の中でどうありたいか、どんな役割を果たしたいのか」を明確にしていき、その実現を支援する関わりによって実現されます。講座を通じて「我々は何を意図してクライアントに対峙するのか」ということを理解でき、それに即した姿勢を身に付けることができれば、結果として試験に受かるのだと思います。

講座は、全国で開講しており、スクーリングの場所や日程など受講される方の都合に合わせてお選びいただけるようになっていて、一定条件内で振替受講も可能です。また、日本キャリア開発協会（JCDA）の認定講座でもあるので、CDA資格の取得も可能です。

●通学クラス（スクーリング）の雰囲気や資格取得後の活かし方など教えていただけますか

講座の中で自分自身の考え方や思いなどをかなり開示しながら演習を行いますので、やはり受講者同士の関係性は深まりますね。その結果、講師や教材から学んだことだけでなくお互いで学び合う雰囲気が生まれます。そしてそのようなネットワークは、試験前には先輩たちが手弁当で指導に来ることもあるなど、期を超えた交流にもつながっています。また、当社の養成講座を修了して国家試験に合格した方は、JCDAに入会することができます。

ますので、そちらでも勉強会など様々なネットワークを作ることが可能です。資格取得後の活かし方としては、ご自身が属する領域で活用いただくことはもちろんですが、当社が受託した事業や JCDA から案内される仕事情報や就職フェアでのキャリア相談などの実践の機会が多くあります。

●最後に読者にメッセージをいただけますか

働き方改革などの進む方向を考えると、これからの社会で働く方々にとっては、「主体的に働く」ということがますます重要になってくると思います。それぞれがどのように働きたいかがわからなかったら、働き方を改革しようにもどうすればいいのかわからないですよ。それを支援するのが我々キャリアコンサルタントの役目です。そういう時代にこの資格を取る意義をみんなで考えながら進んでいけるといいですね。

【 団体基本情報 】

株式会社 日本マンパワー（東京都千代田区神田東松下町 47-1 ）

団体の HP はこちら→<http://www.nipponmanpower.co.jp/>

養成講習の HP はこちら→<http://www.nipponmanpower.co.jp/cc/>

保険に付帯するサービスとしてキャリアコンサルタントによる「職場復帰支援サービス」の提供

[http://www.nipponmanpower.co.jp/tps\\_details.php?tps\\_code=shigoto&id=7ZAKRP41](http://www.nipponmanpower.co.jp/tps_details.php?tps_code=shigoto&id=7ZAKRP41)